

研創新聞

3月1日・2日「日報住まいのリフォームフェア」に出展します。

昨年引き続き、越後にいきる家を「つくる会」では、新潟市産業振興センターで開催される「日報住まいのリフォームフェア」に出展します。当会の家づくりの理念、永く愛され100年住む木の家」の具体例、木の特質・建築技術を分かり易く説明します。ご来場をお待ちしています。



開場時間は10:00～17:00
1.8mのスギの大径木が目印です。木の香りと木肌の感触が楽しめます。

木造建築界の貧困を鑑み、戦後における職業教育の問題である。

「プロフェッショナルが同じ工賃で仕事をこなしている。口上りのアマの方が、仕事上手のプロより高い金を取る事さえある。これは、学校を出た建築士や建築家の多くが職人の仕事の出

来栄えを評価できず、従ってプロとアマを見分ける事が出来ない。今や、自分がやった仕事の出来栄を評価出来ない大工がいる」と、黒田さんは現状を憂える。彼のいうアマとは、仕事が粗悪で、長持ちしない木造建築をつくる人のことである。

長期優良化リフォーム制度がスタート

国土交通省は1月23日、2013年度補正予算案に組み込まれた「長期優良住宅化リフォーム推進事業」の内容を公表しました。同事業は、劣化対策や耐震性、省エネルギーなどで一定の基準を満たすリフォームに対する補助事業です。補助の対象は2014年9月末までに工事を着手するもの。面積条件は55㎡以上。補助利率は1/3で、戸あたり上限100万円。性能向上部分の費用が対象です。2月4日から、事業者向けの説明会が開催されます。耐震性の基準に関しては、①新耐震基準による住宅であること。又は、②耐震診断の確認を要します。

地震力と耐震性 Part1

最近、テレビ新聞で、首都圏直下型、又は東南海地震の被害予測が頻りに報いられています。一見、私たち新潟県に住む者としては、その事に思ってもいませんが、そうではありません。日本列島に居る限り、必ず地震に襲われると覚悟しなければなりません。そこで、今から家と地震の関連です。

耐震補強は設計法で、その精度を設計法で

従来の許容応力度・保有水平耐力計算法は主に弾性剛性（建物微小な変形時における固さ・反発力）に基づいて応力解析を行います。今、当社でチャレンジしているより高度な耐震設計法は「限界耐力計算法」と言います。この設計法は建物の大きな変形量及び倒壊現象を直接の対象とします。建物の構造特性や地盤・地震動の性質などと共に、目標とする耐震性能を適切に設定して構造解析を行います。補強に用いる「制震ダンパー」の有効性、更にエネルギー吸収の大きい貫貫土壁などの伝統的な耐震要素の評価も的確に行えます。

永く愛され100年住む家

3年前に日光の木造3階建・ホテルの耐震改修で使用した制震ダンパーです。当時はメーカーに性能表示をお願いしました。耐震補強工事で設計者 & 大工の技術力とコンビネーションが最重要です。力学的な知識と的確な判断力が求められます。

株式会社 研創

「語り」の源「使用感の源」

東日本大震災から間もなく満三年。福島第一原発の大惨事に対して命をかけてその被害拡大を防いだ男達の「死の淵を見た男」という門田隆将の本。津波被害にあった人達の行動。あの震災の時に日本はこんなに素晴らしい民族かという事を図らずも世界中に伝えた。中国や韓国がいろいろ日本国、日本人の悪口を世界中に言いふらしていますが、我々は日本人としての誇りや自信を失ってならない。

私の尊敬する誇り高い日本人が又一人世を去りました。皆様は小野田寛郎さんという人を覚えていますか。小野田さんはフィリピンの大東亜戦争が終わった事も知らず戦つていた陸軍少尉でした。二人の戦友もフィリピン軍との戦いで殺され昭和四十七年から始まった一人での島で、軍の命令による残置隊員（謀報員）として戦つていました。その小野田さんに会おうと活動していた鈴木木青年との遭遇により、命令者の谷口少佐の任務解除命令を受ける迄の三十二年間戦争をやつてきた事に、日本中は大変な驚きと感動に包まれました。昭和四十九年の帰国時、新聞記者の「この三十二年間で一番嬉しかった事は何か」の質問に対し「何一つ嬉しい事はなかった」と。そして「終戦も知らず三十二年間もジャングルで過す」と健康、財産を守る、資産である「丈夫で長持ち」「耐久性、耐久性」です。そこでも何でも何度も紹介しましたが、安田瓦と家の価値の関係です。耐久性については、1995年の阪神淡路大震災において家の倒壊を屋根根が元凶のように報じられました。これは専門的見地から言え

した事をどう思うか」に「無駄な戦争を知らずにやっていた悔しい」の答えを願つた記者に対して「若く一番意気盛んな時間を、全精神を打ちこんでやれた事は幸福だった」と思つて答へられた。任務、使命に誇りを持ってやり抜いた小野田少尉に私は尊敬の念で一杯になった。九十一才で一月十六日に亡くなられました。小野田さんに心から哀悼の意を捧げます。

耐震性能を如何に

建物の構造性能、特に耐震性能のように大地震が起きて初めてその有効性が認識されるような性能は、一般市民からは見えにくい。建物は通常の使用状態で構造的な問題が起きないのは当たり前、地震がきても大きな損傷が起きることは、あまり考えていない。しかし、耐震性能は、安全で安心な生活を保障するうえで基本となる性能である。建築技術者はその責任上、根拠のない思い込みの言葉ではなく、計算によつてその性能を理解し説明する義務がある。

人生観の確立

この修練会の目的は、手取り早く理論と実際とをあなた方に飲み込ませる事です。言い換えれば、天風会独特の「理人」「行人」という方法で、つまり理屈の方面からあなた方の迷妄、迷いを取つてあげる。そして、実際の方面から生きる肉体のつくり替えをしよという目的です。そこで何をとおいても、まず第一に必要なのは人生観を確固不拔のものにする事です。

解決できますよ。けれど、理屈でわからないものが、もう随分量多くあるのであります。例えば、医者が医学を研究している学問は科学ですね。科学ですから、肉体の生きている状態に対しては色々あれこれと研究しています。しかしながら、医者がどうしてもわからないのは、(中略)、どういふ訳で人間というものは頭だけに毛があつて、顔には毛が無いのだらう。根本がわからない。なぜ人間というものは好きな人に会うと何となく朗らかになつて、嫌なやつに会うと何とも言えない変てこな気持ちになるんだらう。これがわからない。